

子育て・教育の窓口が一部変わりました

4月から子育てや教育に関する組織・業務範囲の変更により、窓口が一部変わりました

主な変更内容

変更1 放課後の児童向け事業の窓口が一つになりました

児童館や育成室をはじめ、児童向けの放課後の居場所づくりに関する事業は、これまで教育委員会を含め区のさまざまな組織で行っていましたが、これを一つの窓口として、教育委員会におくこととしました。

変更2 区立幼稚園と区立保育園の入園相談窓口が一つになりました

これまで区立幼稚園と区立保育園で分かれていた入園相談の窓口を、利用者の利便性向上のため、一つの窓口としました。

業務	担当	窓口	電話番号
児童館の運営に関すること 育成室事業に関すること 青少年健全育成事業に関すること 放課後事業に関すること	教育委員会 児童青少年課	シビックセンター 20階北側 ※12階から移転	児童係 ☎(5803)1188 青少年係 ☎(5803)1186 放課後事業担当 ☎(5803)1822
区立幼稚園、区立保育園・私立 保育園の入園に関すること	幼児保育課 (新設)	シビックセンター 12階南側	入園相談係 ☎(5803)1190



放課後全児童向け事業 風景

その他の変更点

- 庶務課の名称を「教育総務課」に変更しました。
- 教育改革担当課長が廃止になりました。

教育総務課庶務係 ☎(5803) 1291

トピック!

応援ありがとうございました

前号でお知らせした中学生「東京駅伝」大会が2月に本番を迎えました。

壮行会とともに大会当日の様子が4面に掲載されています。



1 特集 子育て・教育の窓口が一部変わりました

2 職場体験学習を行っています

歯と口の健康づくり2016を開催します

子ども読書活動推進計画(28～32年度)を策定しました

健康診断の検査項目が一部変更になりました

3 子どもの発達や教育に関する相談を受け付けています

3 真砂中央図書館が7月にリニューアルオープン

湯島図書館へようこそ!

4 文化財探訪【旧伊勢屋質店】

中学生「東京駅伝」大会
文京区代表チーム 壮行会と出場報告

学校給食おすすめレシピ【ハヤシライス】

編集後記

職場体験学習を行っています

● 地元の企業等で職場体験 ●

区立中学2年生の全生徒を対象に、職場体験学習を行っています。体験期間は、3日間で地域のスーパーマーケット、金融機関、保育所など、230以上の事業所にご協力いただ



豆腐店での職場体験学習

いてます。生徒にとっては、働くことの意義や大変さ、働く上で求められる知識やスキルを考えるきっかけになり、実践的な学びの場となっています。



意見交換会

● 発表会も開催しました ●

2月5日には、生徒たちが体験の成果等を披露するとともに、受入事業者が職場体験学習についてプレゼンテーションを行う、職場体験発表会が行われました。今回は、第八中学校、第九中学校、第十中学校から代表生徒のグループが発表を行い、プレゼンテーション用のパソコンソフトを使いながら、各学校が工夫を凝らした特色ある発表を披露してくれました。職場体験学習に参加した生徒から、「職場では積極性が大事で指示待ちではだめ」「話を1回で聞き取る力が必要」等多く

の感想が寄せられ、実感を伴う貴重な体験になったことが分かりました。

受入事業者を代表して開隆堂出版株式会社の方に、事業者側から見た職場体験学習という内容で発表していただき、「楽しくやろう、無理はしない、手加減もしない」という考えで、生徒に「真剣な学び」を提供しようとする姿勢が伝わってきました。

● 意見交換会 ●

発表会の後半では、発表を行った3校から各2名の生徒による意見交換会が行われました。共催する東京本郷ロータリークラブの方がコーディネイト役を務め、職場体験学習の成果や課題のほか、将来の夢や職業に対する意識など、生徒が思い描く職業像にさまざまな意見やアドバイスが出され、有意義な意見交換会となりました。

生徒たちにとって学校生活では体験できない学びの場となるよう、今後もより多くの事業所からのご協力をお願いします。

教育指導課 ☎(5803) 1300

歯と口の健康づくり2016を開催します

6月の「歯と口の健康週間」にあわせて、区における口腔衛生の向上を目的とし、「歯と口の健康づくり2016」を開催します。当日は、歯科健診において優秀な成績を修めた幼稚園、小・中学校の表彰や、小・中学校の児童・生徒から募集した「よい歯の図画・ポスター」の入賞者の表彰、また口腔衛生に関する特別講演などを予定しています。入場無料、申込不要となっていますので、ふるってご来場ください。

Information開催概要

日時 6月9日(木)
午後2時～4時30分[予定]
会場 シビックホール小ホール
申込 当日直接会場へ
入場料 無料

◆「よい歯の図画・ポスター展」を開催します◆

小・中学校の児童・生徒から募集した「よい歯の図画・ポスター」の入選作品を展示します。ぜひご観覧ください。

Information開催概要

日時 5月21日(土)
～6月12日(日)
午前8時～午後10時
5月25日(水)を除く
会場 シビックセンター地下2階
区民ひろば

学務課学校保健担当 ☎(5803) 1956

子ども読書活動推進計画(28～32年度)を策定しました

子ども読書活動推進計画とは?

23年3月に「文京区子ども読書活動推進計画」(23～27年度)を策定し、子どもの読書活動を推進するさまざまな取組を実施しています。



このたび、計画期間の終了に伴い、28～32年度を計画期間とする新たな推進計画を策定しました。策定にあたっては、新たな課題に対応するための取組等を盛り込み、子どもの読書活動のいっそうの充実を図ります。

4つの目標

本計画は4つの目標を掲げ、その下に具体的取組として35の事業を掲げています。

①成長段階に応じた読書機会の提供

乳幼児から生涯にわたり読書習慣を身に付けられるよう、成長段階に応じ、子どもが本に出会い親しむ機会を提供します。

②家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実

学校や図書館などを中心に、子どもの読書環境



図書館での幼児向け紙芝居読み聞かせ風景

の整備と読書活動の充実を図ります。また、区の関係機関が協力、連携しながら読書活動の推進を図ります。

③子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

子どもの読書活動について、理解と関心が深められるよう普及、啓発に取り組みます。

④子どもの読書活動を推進するための人材育成・活動の支援

子どもの読書環境に関わる人材の育成や活動の支援を行うとともに、関係職員等の資質の向上を図ります。

真砂中央図書館 ☎(3815) 6801

健康診断の検査項目が一部変更になりました

28年度から児童生徒等健康診断の検査項目が次のとおり一部変更されました。

●座高検査の廃止

子どもの成長を評価するうえで、座高より身長・体重成長曲線の方がより重要であり、今後は作成した成長曲線の積極的な活用を図ることから廃止となりました。

●寄生虫卵検査の廃止

検査における検出率が近年低く推移しており、良好な衛生状態であることから廃止となりました。

●運動器検診(四肢の状態)の実施

現代の子どもたちは運動不足による体力・運

動能力の低下と運動のやり過ぎによるスポーツ障害の二極化した問題が深刻化しており、運動器の健康状態の把握や運動器疾患・障害を早期に発見することが重要であるとの認識から導入されました。対象は、小・中学校の全学年とし、運動器検診保健調査票を活用して実施します。

また、健康診断の必須項目ではありませんが、児童・生徒が自身の色覚の特性を知らないまま就職等に際して不利益を受けることのないよう、小学4年生以上の検査希望者を対象に色覚検査を実施します。検査にあたっては、特にプライバシーに配慮し、個室で行うなど他の児童・生徒に検査の様子が分らないような環境で実施します。

学務課学校保健担当 ☎(5803) 1956

子どもの発達や教育に関する 相談を受け付けています

教育センターの総合相談室では、進級にあたっての心配事など子どもの発達や教育に関する相談を専門スタッフがを行っています。相談の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

発達にかかわる相談

お子さんの発達状況に応じて、発達相談や専門訓練(理学療法、作業療法、言語療法、心理指導等)、グループ指導(親子グループ、社会性やコミュニケーション力を育てるソーシャルスキルトレーニンググループ等)を実施しています。☆小・中学生は、期間や回数を区切ってプログラムを組み、月～金曜の放課後の時間帯に実施しています。

教育にかかわる相談

相談内容に応じて、保護者とのカウンセリング、お子さんとのカウンセリングやプレイセラピー(遊びを通じたケア)等による心理的支援を行っています。



Information・・・総合相談室 利用案内

- 対象** 区内在住・在学の18歳以下の方とその保護者(専門訓練は中学生以下の在住者対象)
- 費用** 無料
- 申込方法** ☎(5800)2594
または来所で申し込み(予約制)
- 開室時間** 月～金曜、第2・4土曜(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分
- 所在地** 湯島4-7-10 教育センター内
- アクセス** 千代田線「湯島」徒歩8分、丸ノ内線「本郷三丁目」徒歩10分、都営大江戸線「本郷三丁目」徒歩8分、都営バス「湯島四丁目」徒歩5分

何でも話せる電話相談

面接相談のほか、電話による匿名での相談も随時受け付けていますので、ご利用ください。

電話教育相談

- 専用電話 ☎(5800)2595
- 受付時間 24時間受付/年中無休

いじめ電話相談

だれにも相談できず、いじめに悩んでいるお子さんや保護者からの相談を受け付けています。

- 専用電話 ☎(5800)2596
- 受付時間 24時間受付/年中無休

真砂中央図書館が7月に リニューアルオープン

改修工事のため、現在、休館中の真砂中央図書館は、7月にリニューアルオープンします。利用者に快適な読書環境を提供するため、対面朗読室やおはなしの部屋、主にYA(ヤングアダルト：10代の読者や利用者のこと)を対象としたグループ学習スペースの新設や地域資料コーナーを拡充します。区民ニーズに沿った中央館としての機能を充実させ、更なる利便性の向上を図っていきます。

詳しくは、次号(9月11日発行)でご紹介します。

真砂中央図書館 ☎(3815)6801

ふれあい学級 -不登校児童・生徒の支援-

ふれあい学級は、心理的要因等により不登校となっている、または、不登校ぎみの区内在住・在学の小学4年生から中学生までの児童・生徒を対象に、自立の促進と学校生活への復帰を支援している適応指導教室です。

小集団を基本とした自主学習、グループ活動と児童・生徒の不登校の状態に合わせた個別対応をしています。

教育センター内の情報教育・科学事業との連携やスクールカウンセラーによるソーシャルスキルトレーニング、面談、ALT(外国語指導助手)による外国語活動、調理実習等のグループワークなどの活動もしています。見学もできますので、ご相談ください。

- 問合せ ☎(3816)5347
- 受付時間 午前8時30分～午後5時

ビジネスを支援する湯島図書館へようこそ!

☎(3814)9242
本郷3-10-18
(湯島総合センター4階)

丸ノ内線「御茶ノ水」・「本郷三丁目」 徒歩10分
都営大江戸線「本郷三丁目」 徒歩10分
都営バス「本郷二丁目」 徒歩8分



このコーナーでは、区立図書館を紹介します。第8回目となる今号は、湯島図書館です。

湯島図書館は、昭和55年4月に真砂中央図書館の分館として開設され、昭和63年4月に独立して、現在の名称となりました。幼稚園・福祉センター・児童館が入る湯島総合センターの4階にあり、隣には日本サッカーミュージアムがあります。

●わかりやすく選びやすい書架づくり

湯島図書館は、地域の方々の他、湯島総合センターを利用する幼児・児童から高齢者まで幅広い世代の方にご利用いただいているため、各書棚には大きくわかりやすい見出しを付けて、選びやすい書架づくりを心がけています。蔵書数は、約8万点で、一般図書約5万点、児童図書約2万点、CD約1万点を所蔵しています。また、絵本専用の「えほんのへや」では毎月3回子どもたちに読み聞かせ行事も行っていきます。

●ビジネスやサッカーの常設コーナー

周辺には、医療機器、医療品関連メーカーや問屋、出版社などの企業が多く所在することから、昼休みや帰宅の時間帯では、近隣に勤める人の利用が多いのも特徴です。館内には「ビジネス支援コーナー」の専門書架と経営情報サービスデータベース(企業情報を検索できる専門端末)を導入し、ビジネスをサポートする取組を行っています。また「サッカーコーナー」では、サッカー



第一水曜に開催している「えほんの会」での手遊び

ミュージアムからの協力により関連資料の設置やホットニュースの掲示を行っています。その他にも区内観光スポットのパンフレットや関連資料を集めた「観光情報コーナー」を設置するなど、湯島図書館独自の情報発信も行い、利用者から親しまれています。

その他のイベントでは、新春恒例の落語会が毎年好評をいただいています。



毎年恒例の新春落語会



旧伊勢屋質店

区内のさまざまな文化財を紹介していくこのコーナー。今回は、3月に区指定文化財に指定された旧伊勢屋質店を紹介します。

本郷五丁目に所在する旧伊勢屋質店は、明治時代に移築および建築された3棟の近代和風建築です。これら木造の建物のうち2棟は本郷の菊坂に面して建てられ、歴史的景観を今に伝えています。

旧伊勢屋質店は、江戸時代末期の万延元年(1860)創業と伝えられる質屋です。この店は明治26・27年(1893・1894)頃、五千円札の肖像画でも知られ、近代女流文学者として名高い樋口一葉が、生活が苦しくなるたびにしばしば通った質屋として知られています。



右は見世、左は土蔵

文豪が多く住んだ本郷のランドマーク的な存在となっており、区民のみならず多くの方々から親しまれています。

3棟の建物のうち、最も古いものは土蔵で、明治20年(1887)に現在の足立区鹿浜から移築されたものです。ついで、土蔵の奥に位置する座敷棟が同23年に、菊坂に面した見世(店舗兼住居)が同40年にそれぞれ建築されました。

築100年以上を経過したこれらの建物は、建築様式などに江戸時代からの町家の造りが

Information.....文化財指定情報

名称 旧伊勢屋質店 見世・土蔵・座敷棟
付 棟札(見世)1枚
種別 区指定有形文化財(建造物)
指定日 平成28年3月1日
所在地 本郷5-9-4
所有者 学校法人跡見学園

継承されており、今では数少なくなった明治時代の東京の商家の店構えをうかがう上で、大変貴重なものです。

なお、跡見学園女子大学との協働により、毎週土・日曜(年末年始、大学行事日等を除く)および毎年11月23日の「一葉忌」に、建物内部を一般公開しています。

※一般公開の詳細は区ホームページをご覧ください。

教育総務課文化財保護係 ☎(5803) 1305

中学生「東京駅伝」大会 文京区代表チーム 壮行会と出場報告

壮行会

1月19日、第7回中学生「東京駅伝」大会出場にあたり、文京区代表チームの壮行会が行われました。区内国立、私立、公立中学校15校の生徒で編成する文京区代表チームを多くの区民の皆さんの声援と拍手で送りました。また、2000年シドニーオリンピック男子マラソン日本代表の川嶋伸次さん(元東洋大学陸上競技部監督、現旭化成陸上部コーチ)が駆けつけ、選手に激励の言葉を送りました。



壮行会ではチームを代表して2名の生徒が意気込みを語った

大会当日

2月7日、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園で大会が開催されました。

午前中に行われた女子の部では、応援用ののぼり旗が立ち並ぶ浴道からの大きな声援に励まされ、一人ひとり確実に襷を渡し、30Kmを走破しました。

続いて男子の部では、走者が公園内の周回コースからゴールのあるスタジアムに入ってくると、声援はあっというま大きくなりました。スタンドの文京区チームや保護者等からの精一杯の声援は、走者のラストスパートを後押ししました。

結果は、男女ともに42位で、総合順位も42位となり、今回の大会を終えました。



国公立の枠を超え一丸となって大会に臨んだ代表チーム

昨年11月にチームを編成してから4か月という短い期間でしたが、選手たちは切磋琢磨し、総監督をはじめとするチームスタッフや保護者に支えられ、大会当日には力を出し切ることができました。普段の学校生活とは異なる経験をとおして、生徒たちは一回り成長したように見えました。

教育指導課 ☎(5803) 1300

学校給食おすすめレシピ

ハヤシライス

ハヤシライスはカレーライスと並ぶ大人気メニューです。玉ねぎ半量をあめ色になるまでしっかり炒める



のがおいしさの決め手です。トマトジュースが多めなので、酸味が気になる場合は少し長めに煮るか砂糖を少々加えてください。

学務課給食担当 ☎(5803) 1299

★材料(4~6人分)	分量	
・精白米	3合	
・サラダ油	小さじ1	
・にんにく	少々	
・玉ねぎ	360g(中2個)	
・にんじん	90g(3/4本)	
・ぶなしめじ	50g(1/2パック)	
・豚こま(牛肉でも可)	240g	
・赤ワイン	小さじ1	A
・塩	1.2g(小さじ1/5)	
・こしょう	少々	
・鶏がらスープ	300ml	
・トマトジュース	150ml	
・ケチャップ	大さじ4	
・こいくちしょうゆ	小さじ1と1/2	B
・中濃ソース	大さじ1と1/2	
・ウスターソース	小さじ2	
・赤ワイン	小さじ1	
・バター	20g	C
・薄力粉	24g(大さじ3)	

★作り方

- ①米を炊く。
- ②豚こまはAで下味をつける。
- ③バターをフライパンで熱して、溶けたら薄力粉を加え、弱火で少し色付くまで炒めてブラウンルウを作る(C)。
- ④玉ねぎ半量は薄めにスライスして、分量外の油であめ色になるまで鍋でよく炒める。
- ⑤油でにんにく(みじん切り)を炒め、香りが出たら、②、残りの玉ねぎ(くし切り)、他の野菜も入れて炒める。
- ⑥鶏がらスープ、トマトジュース、④を加え、野菜がやわらかくなったら⑧を入れる。
- ⑦ブラウンルウを入れて少し煮込んでできあがり。

●●●こんな方法も●●●

- あめ色玉ねぎ：電子レンジで3~4分加熱してから炒めると時間短縮になります。カレーやスープにも使えるので、まとめて作って冷凍保存しておくとう便利です。
- ③のブラウンルウを作る代わりに、市販のデミグラスソースを使うと手軽にできます。

編集後記

厳しい寒さが続くと春がやってくるのかと心配になることがありますが、実際に春の訪れを感じたときはほっとします。春は「出会い」について、あれこれ思いを巡らせる季節でもあ

ります。これまでの出会いをふり振り返り感謝するとともに、これからの出会いに胸を膨らませます。子どもたちがさまざまな人やものとの出会いによって成長していくことを願っています。